

目次（案）

1. 地域価値ワーキンググループ	1
(1) ワーキンググループの目的	1
(2) 報告書の活用	3
2. 地域の課題（人材・資金の不足、地域活性化活動の継続の難しさ）	4
(1) 人材・資金の不足	4
(2) 地域活性化活動の継続の難しさ	5
3. 持続的な価値の創出を実現する地域価値エコシステムを作る	6
(1) 地域価値エコシステムの理想像	6
(2) 地域価値エコシステムの要素	7
(3) 地域価値エコシステムのイメージ	16
① モデル1 ～素材の磨き上げ（脱平均）～	17
② モデル2 ～ネットワーク（融合）～	18
③ モデル3 ～コ・クリエーションモデル（共感）～	20
(4) 時間軸で見たモデル3（着火・ブースト段階からスケール・自走段階へ）	22
(5) 理想的な地域価値エコシステムモデルを構築するために	25
4. 実例から得られるベストプラクティス	33
(1) 9つの論点	33
(2) 各論点とベストプラクティス	38
① 埋もれた地域資源としてどのように発掘し、何を選ぶか	38
② 地域資源を、どのように見える化や磨き上げを行うか	40
③ どのように地域内でのインナーブランディングを進めるか	42
④ 地域の知の拠点である大学の知財マネジメントに課題はないか	45
⑤ 地域の各主体に求められる役割は何か	47
⑥ 地域における複数の主体の融合をどのように促進するか	51
⑦ アウターに対してどのように地域資源を活用するか	55
⑧ アウターに対してどのように情報発信を行うか	59
⑨ アウター（顧客）ニーズをどのように把握し、活用するか	62
5. おわりに	65
(1) 今後に向けて	65
(2) 今後のアクション（取組）案	65
(3) 地域の各主体へ向けたメッセージ	66
関連資料	67